

# Voice to Voice

～響かせよう、あなたの声を～

とおかまち市民討議会2013  
「盛り上げよう！ホワイトミュージアム！」

## 報告書



とおかまち市民討議会2013  
実行委員会



## 実行委員長挨拶

---

十日町市と社団法人十日町青年会議所が協力し、2009年から行っている市民討議会も5回目を迎えました。協働のまちづくりを目指し、我々の地域の課題を取り上げ、無作為に選ばれた市民より討議をしていただく場として開催して参り、少しずつではありますが市民の声からまちづくりは始まっております。今回の市民討議会は「盛り上げよう！ホワイトミュージアム！」をテーマに開催させていただきます。豪雪地として有名なこの地域において雪まつりは冬期中の大切な催しです。各地域において様々な歴史やしつらえがありそれぞれがしっかり地域に定着しております。しかし、当たり前のようにある雪まつりも人口の減少や高齢化社会のあおりを受け様々な問題があるのも事実であります。これまでの歴史を大事に、またその思いを引き継ぎ、今後もこの地域の冬の大切なイベントとして残して行く為にも、今回のテーマで市民討議会が開催され市民の皆様より意見をいただくことに大きな意義を感じております。

市民討議会は公募で参加者を選ぶ訳ではなく、無作為に選ばれた市民の皆様から地域の問題について討議を行い、その意見を報告書という形で提言し、行政やまちづくり団体など関係各所の活動や取り組みに反映させていく手法です。公募の場合、その題材に対して関心がある方々や専門的な知識のある方々が中心になる可能性がありますので、自分たちのまちの問題に対して市民の意見を反映していない可能性があります。しかし、無作為に選ばれる事により、普段はサイレントマジョリティ（声なき声、物言わぬ多数派）と言われる方々からもご意見をいただくことができ、市民の声を反映できると考えております。市民が思い描くこのまちのビジョンを行政に響かせこのまちの未来の為に市民との協働のまちづくりを行えると考えます。

今回のテーマは市民にとって馴染みのあるものだと思います。しかし、これからも変わらぬように、また、より一層良いものにして行くためにも皆様のご意見をまとめ、報告書として十日町市へ提言させていただき、皆様のご意見がこれからの雪まつりに反映されることを目指して開催いたします。また、市民討議会の手法が市民の意見を行政に届けるための、また、地域の重要課題を解決するための手法として積極的に活用されることを期待しております。是非とも皆様のご協力とご理解を宜しくお願い致します。

とおかまち市民討議会 2013  
実行委員長  
社団法人十日町青年会議所  
理事長 涌井 紀秀

## 実施経過

---

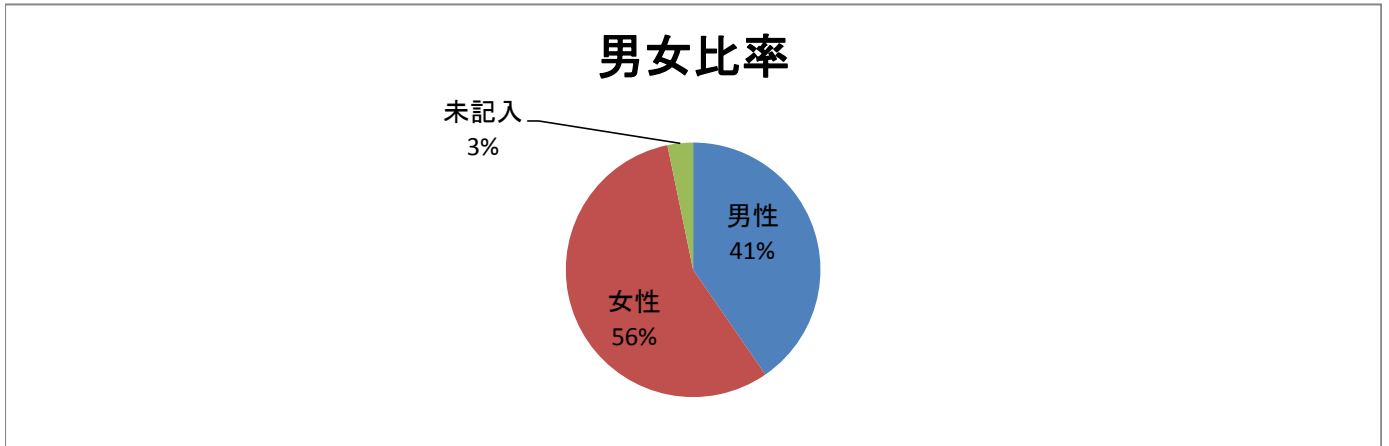
- 6月 5日（水） 第1回実行委員会準備会議を市役所にて開催。  
テーマ選定・実施日時選定・無作為抽出数・会場選定について
- 6月19日（水） 第2回実行委員会準備会議を市役所にて開催。  
テーマ選定・会場決定・日時決定について
- 6月25日（火） 第3回実行委員会準備会議を分庁舎にて開催。  
テーマ決定・情報提供・今後のスケジュールについて
- 7月11日（木） 第4回実行委員会準備会議を分庁舎にて開催。  
パネリストの選定・コーディネーターの選定
- 7月18日（木） 第5回実行委員会準備会議を分庁舎にて開催。  
パネリスト決定・討議内容について
- 8月28日（水） (社)十日町青年会議所 涌井紀秀理事長と十日町市 関口芳史市長  
による「とおかまち市民討議会2013の実施に関する協定書」  
の調印式を市役所にて開催。
- 9月 4日（水） 無作為抽出した18歳以上の市民2,000名に案内状送付。
- 9月17日（火） 第1回実行委員会を分庁舎にて開催。  
参加者申込者確認・進行役の決定・手法について
- 10月 7日（月） 第2回実行委員会会議を分庁舎にて開催。  
進行役勉強会（1回目）
- 10月16日（水） 第3回実行委員会会議を市役所にて開催。  
情報提供者会議
- 10月18日（金） 第4回実行委員会会議を分庁舎にて開催。  
進行役勉強会（2回目）
- 10月20日（日） 「とおかまち市民討議会2013」開催。

# 2013市民討議会事前アンケート集計

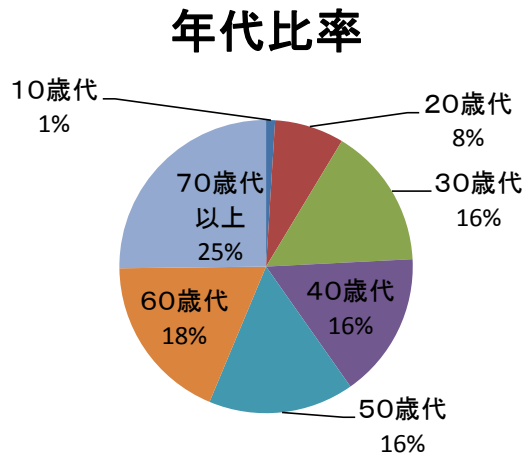
無作為に選ばれた2000人の十日町市民に対してアンケートのお願いを行い463通の回答がありました。

質問1 全員にお伺いします。あなた自身のことについて

( 1 ) 性別に○をつけてください。 ( 187 ) 男性 ( 261 ) 女性 ( 15 ) 未記入

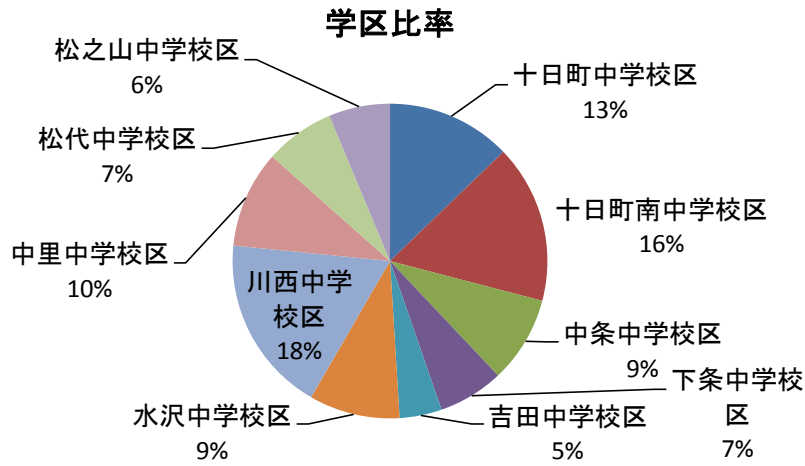


( 2 ) 年代に○をつけてください。 ( 4 ) 10歳代 ( 65 ) 50歳代  
( 31 ) 20歳代 ( 75 ) 60歳代  
( 63 ) 30歳代 ( 102 ) 70歳代以上  
( 65 ) 40歳代 ( 56 ) 未記入



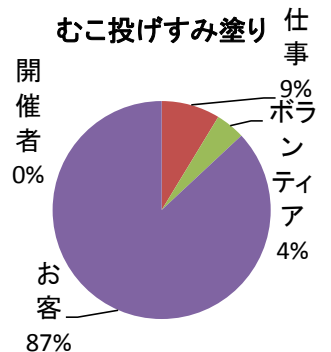
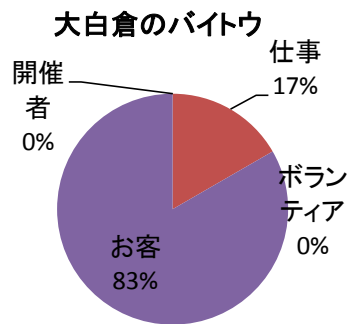
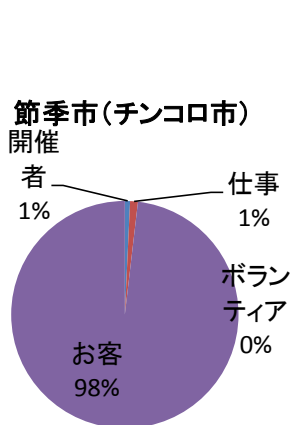
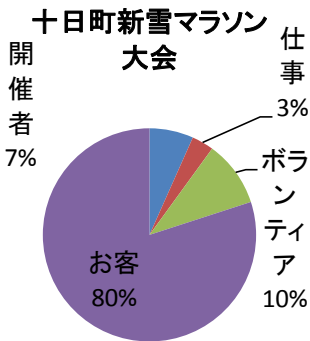
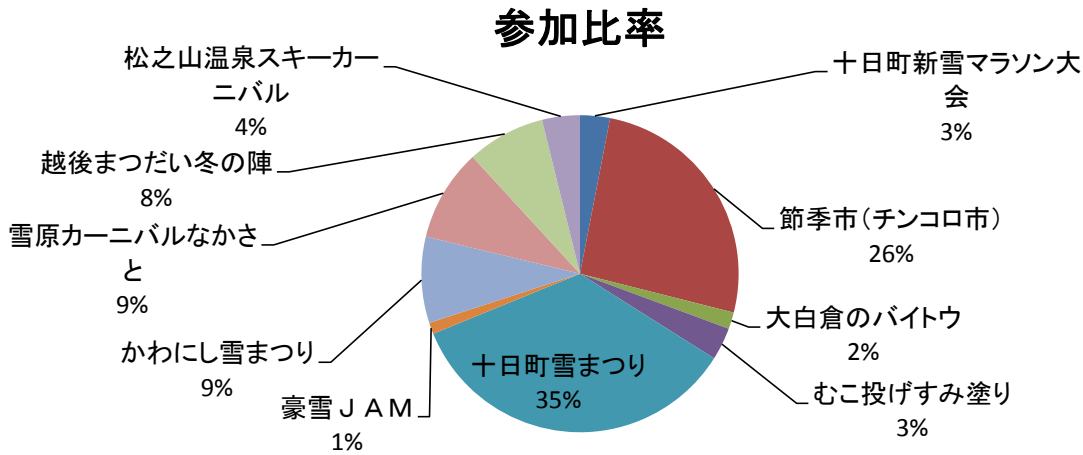
( 3 ) お住まいの地域を教えてください。(中学校の校区単位でお答えください。)

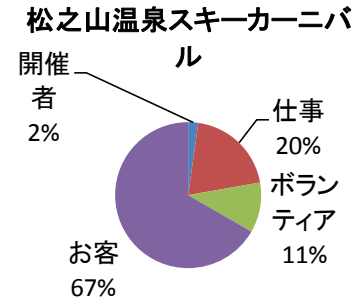
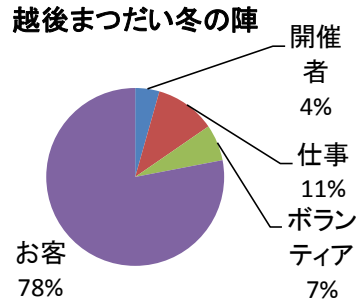
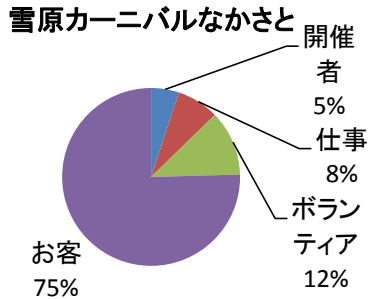
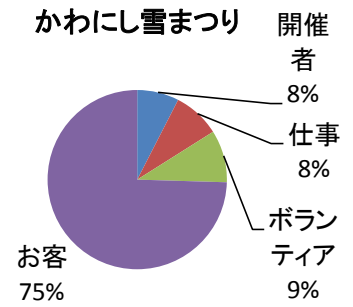
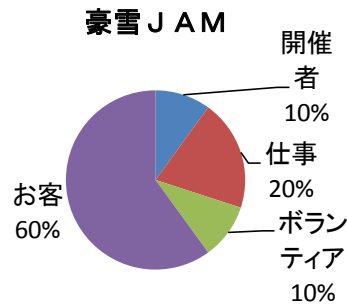
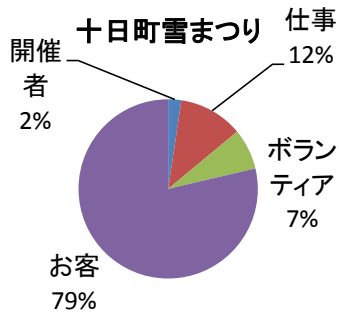
( 59 ) 十日町中学校区	( 43 ) 水沢中学校区
( 75 ) 十日町南中学校区	( 84 ) 川西中学校区
( 41 ) 中条中学校区	( 46 ) 中里中学校区
( 31 ) 下条中学校区	( 33 ) 松代中学校区
( 20 ) 吉田中学校区	( 29 ) 松之山中学校区



質問2 全員にお伺いします。今までに行ったことがあるイベントに○をつけてください。  
また、参加方法に○をつけてください。

イベント名	参加方法
( 34 ) 十日町新雪マラソン大会	( 2 ) 開催者 ( 1 ) 仕事 ( 3 ) ボランティア ( 24 ) お客
( 289 ) 節季市(チンコロ市)	( 2 ) 開催者 ( 3 ) 仕事 ( 0 ) ボランティア ( 266 ) お客
( 19 ) 大白倉のバイトウ	( 0 ) 開催者 ( 3 ) 仕事 ( 0 ) ボランティア ( 15 ) お客
( 37 ) むこ投げすみ塗り	( 0 ) 開催者 ( 2 ) 仕事 ( 1 ) ボランティア ( 20 ) お客
( 389 ) 十日町雪まつり	( 10 ) 開催者 ( 49 ) 仕事 ( 31 ) ボランティア ( 332 ) お客
( 13 ) 豪雪JAM	( 2 ) 開催者 ( 4 ) 仕事 ( 2 ) ボランティア ( 12 ) お客
( 98 ) かわにし雪まつり	( 8 ) 開催者 ( 9 ) 仕事 ( 10 ) ボランティア ( 79 ) お客
( 105 ) 雪原カーニバルなかさと	( 6 ) 開催者 ( 9 ) 仕事 ( 14 ) ボランティア ( 89 ) お客
( 89 ) 越後まつだい冬の陣	( 4 ) 開催者 ( 10 ) 仕事 ( 6 ) ボランティア ( 71 ) お客
( 43 ) 松之山温泉スキーカーニバル	( 1 ) 開催者 ( 9 ) 仕事 ( 5 ) ボランティア ( 30 ) お客





質問3 全員にお伺いします。友達を連れていきたいイベントに○をつけてください。  
また、その理由をご記入ください。

イベント名

( 13 ) 十日町新雪マラソン大会

理由

- ・ 冬の高齢者は参加が無理。スポーツは好きですが。
- ・ いつか子供と出てみたい。
- ・ 応援する為。
- ・ 知り合いにマラソンをやっているものがあるので。
- ・ すごいと思う。
- ・ 息子が参加することがあるから。
- ・ 一緒に数人と楽しく走りたい。

( 92 ) 節季市(チンコロ市)

理由

- ・ 観て回るだけでも土地柄があるので。
- ・ 特に外国のお客に喜ばれた。
- ・ 味わいがあるから。
- ・ 行きやすいから。
- ・ 縁起もので良い。
- ・ 親が十日町生まれであっても子供は都会で生活していると、節季市を知らないのを見せるべきだと思っている。
- ・ 会話も楽しんでもらいたい。
- ・ 可愛らしいので女性は喜ぶと思います。
- ・ 子供の時に行ってまた行きたい。
- ・ 地元のお母さんたちの手作りを食べてほしい。
- ・ 従来より使われてきた生活用品、中には美術品価値もある。
- ・ 出生地だから。
- ・ 竹細工などほしいものがある。
- ・ 他市町村、他県の人に見せたい。
- ・ 地域色が濃く、幼いころからの馴染みがある。
- ・ 地域に相応しい。年々規模が縮小するのが残念。

- ・地域の暮らしと工夫がわかる。
- ・近い。
- ・チンコロ市が好きだから。
- ・チンコロが買えるから。
- ・チンコロが可愛いから。
- ・チンコロが有名だから。
- ・チンコロの色々を見せたい。
- ・手作りのいろいろなものがあるから。
- ・伝統として子供を連れて行きたい。
- ・十日町ならではのだから。
- ・十日町のチンコロは他にないから。
- ・都会の人に雪国ならではの行事をみせたいです。
- ・土地の皆さんの手作り市が魅力的である
- ・懐かしい物が見つけれられる。
- ・懐かしさ。
- ・賑やかで楽しい。
- ・古里感が出ている所を見せたい。
- ・他の地方にはあまりないチンコロがあるから。
- ・毎年チンコロ、農作物を買いに行っているから。
- ・見る楽しみ、選ぶ楽しみ。
- ・昔ながらの「市」でなつかしい。
- ・昔ながらの行事を大切に思う為。
- ・昔ながらの伝統的な品を見せたい。
- ・昔ながらの懐かしいムードがある。
- ・昔ながらの露天市を見る事ができる。
- ・昔懐かしいものがある。
- ・昔の物を知ってもらいたい。
- ・珍しいから、チンコロがかわいい。
- ・雪国ならではの手作り市だから。
- ・雪国らしく素朴でいい雰囲気です。
- ・昔ながらの品があり、懐かしいしずっと続いて欲しい。友達にも伝えたい。
- ・凡情があるから。
- ・目でみたいから。
- ・歴史を感じる。
- ・雪国ならではのだから。
- ・昔ながらの伝統があるから。
- ・十日町の風物詩。
- ・他にないイベントだから。
- ・チンコロを紹介したい。
- ・郷愁を感じる。

( 19 ) 大白倉のバイトウ

理由

- ・一度行ってみたい。
- ・田舎ながらの伝統行事なので
- ・自分が行きたいイベントの一つなので。
- ・小さな集落だと思うが毎年伝統行事を続けていけると感心。
- ・伝統的行事。
- ・国際的だから。
- ・十日町の風物詩。
- ・楽しそうだから自分も行きたい。

( 39 ) むこ投げすみ塗り

理由

- ・一度は見てみたい。
- ・行ってみたい。有名。
- ・変わった行事の為。



- ・ 奇祭で他では見られないし味わえない面白さがある。
- ・ 地元の伝統行事をたくさんの人に知ってもらいたい。
- ・ 全国的に有名だから。
- ・ 大雪ならではで良い。
- ・ 誰でも参加できる。
- ・ 近いから。
- ・ テレビでしか見ないので生で見たい。
- ・ 伝統的な祭典は地域住民の心と暖かみがある。
- ・ 十日町の伝統行事だから。
- ・ まだ見たことがないので行ってみたい。
- ・ みんな知っているから。
- ・ 昔ながらの行事を大切に思う為。
- ・ 珍しい話題性のある伝統行事。
- ・ よくテレビで取り上げられてるから。
- ・ 面白いから。
- ・ 十日町の風物詩。

( 230 ) 十日町雪まつり

#### 理由

- ・ 昔からの祭り、大勢の方で出来る祭り故。
- ・ 一度は観てみる価値はある。
- ・ 一度は観てもいいと思う。
- ・ 一番有名なイベントなので。
- ・ 行ってみたいと言われるから。
- ・ イベントが多く、タレントも来る。
- ・ イベントが盛りだくさんなので。
- ・ イベントごとのない冬から春を感じる。
- ・ いろいろなイベントがあつて楽しそうだった。
- ・ 色々な雪像が素敵なので。
- ・ 遠方の友人にぜひ観て頂きたい。
- ・ 大きい祭りだから。
- ・ お茶席に行つてほしい。
- ・ 終りの花火が綺麗だから。
- ・ カーニバル会場が近いから。
- ・ 開催者のエネルギーを感じてもらふ為。
- ・ 各広場の催しが多彩。
- ・ 元祖雪まつりで工夫をこらした雪像があるから。
- ・ 感動間違いなし。
- ・ 着物ショーが一番見たい。
- ・ クオリティーの高い作品は面白いから。
- ・ 芸能人が有名な方が来るから。
- ・ 芸能人も来るし、イベントが多い。
- ・ 広範囲なので近い場所～車の便がいい遠いところの雪像をみることが出来る。
- ・ 子供の頃、親に連れて行つてもらつたから。
- ・ この辺で一番大きな祭りだから。
- ・ 札幌の雪まつりとは違つた家族的なところを見せてやりたい。
- ・ 様々な催しがあるので。
- ・ 市外の方で見学したい人が大勢いる。
- ・ 市民が手作りのまつり。
- ・ 出生地だから。
- ・ スケールが大きい。冬の花火が見られる。
- ・ スケールが大きくすばらしい。
- ・ ステージと花火が綺麗。
- ・ ステージもいいけど、雪像や広場がいい。十日町といつたらやっぱりこれかな。
- ・ ステージや雪像がきれい。
- ・ 素晴らしい、楽しい。
- ・ 素晴らしい雪像を見たい。
- ・ 盛大であるから。

- ・雪上カーニバル、煙火等見物させたい。
- ・雪上カーニバルはすばらしい。
- ・雪上花火を見せたい。
- ・雪像、舞台。
- ・雪像が多くあり見応えがある。
- ・雪像等、拝見し、話し合う為。
- ・雪像のすばらしさと花火は是非見せたい。
- ・雪像の素晴らしさを見せてあげたい。
- ・雪像はあまり見る機会が無いから。
- ・全国的に知名度があり、カーニバルを見せたい。
- ・大雪ならではで良い。ゆっくり楽しめる。
- ・代表する祭り。
- ・多彩な催しものがある。
- ・タレントの参加や、雪像を観るのが楽しい為。
- ・近い。
- ・連れていく価値がある。
- ・伝統ある特色ある地域行事だから。
- ・伝統ある祭りだから。
- ・十日町最大なので。
- ・十日町三大祭りの一つだから。
- ・十日町って感じがするので。
- ・十日町でしか体験できないイベントだから。
- ・十日町といえば雪なので雪のステージを見せたい。
- ・十日町の祭りの中で一番盛大だから。
- ・都会の人に雪国ならではの行事をみせたいです。
- ・とにかく見てほしい。
- ・友達と一緒に知り合いの作った雪像を見たいから。
- ・友達の子供、孫を連れて十日町の素敵を知って頂きたい。
- ・内容が充実している。
- ・何度見ても感動する。
- ・花火が綺麗だから。
- ・花火と雪像を見せたい。
- ・華やかな雰囲気楽しく綺麗。
- ・フィナーレと雪花火を見せたい。
- ・フィナーレの花火が見応えあるから。
- ・冬一番のイベントだから。
- ・ヘルパー引率でいけるから。
- ・毎年楽しみにしている客がいる。
- ・毎年友達と行っているから。
- ・まだ見たことが無いので一度みてみたい。
- ・町中楽しめる。
- ・街中に雪像があって楽しめるから。
- ・見どころが多数あるから。
- ・昔からの祭り、大勢の力で出来る祭り故。
- ・メインステージはもちろん地域の催し物も楽しい。
- ・山の会場がすばらしいから。
- ・有名。見所が沢山ある。
- ・有名だから。イベントの規模も大きいため。
- ・雪国ならではの味わいがある。
- ・雪国の暮らしぶりをみてもらいたい。
- ・雪国のパワーが伝わる。
- ・雪の芸術を楽しんでもらいたい。
- ・雪の中の花火が見事なので。
- ・雪の降らないところに住む人に雪像を見せて感動させたい。
- ・雪の降る中、家にいてもつまらないから。
- ・雪を楽しみたい。
- ・歴史があるし、雪の芸術で街がいっぱいだから。
- ・ショーが素晴らしい。
- ・地元で一番有名だしメインだから。

- ・冬のまつりだから。
- ・友達と話しながら町めぐりをしつつ、まつりも楽しめそうなので。
- ・生で歌手の歌が聞けるから。
- ・雪の芸術作品鑑賞と各広場のイベント参加。
- ・こんなに雪にふれられる環境がないから。

( 19 ) 豪雪JAM

理由

- ・音楽が好きだから。
- ・気の合う仲間と行きたい。
- ・興味があるので。
- ・自分でも行ってみたいから。
- ・雪上ステージで行われる音楽イベントはほかに聞いたことがないし、とてもいいイベントだと思うので。
- ・雪上でのLIVEはひと味違う。
- ・楽しめる。
- ・日本一過酷なJAMだから。
- ・年配者でも音楽好きであればOKかと。
- ・マニアックでおもしろい。
- ・若者の企画で、お店も面白そう。
- ・知らない人が多いのでは。

( 16 ) かわにし雪まつり

理由

- ・歩いて行ける場所で楽しそうだから。
- ・家が近いから。
- ・行った事が無いから。
- ・今後を期待し友人を連れて行きたい。
- ・地元の数少ない祭りだから。
- ・都会の人に雪国ならではの行事をみせたいです。
- ・友達と一緒に知り合いの作った雪像を見たいから。

( 94 ) 雪原カーニバルなかさと

理由

- ・一回行ってみたい。
- ・行った事がないので一度行ってみたい。
- ・イベントに全員参加できる。
- ・感動的だから。
- ・キャンドル点灯に参加でき、キレイだから。
- ・キャンドルは幻想的で良いです。
- ・綺麗で、イベントも面白いから。
- ・綺麗なゲレンデを見てほしいから。
- ・景色が綺麗なので。
- ・自分で行ってみたいので。
- ・地元だから。
- ・スキーと花火がきれいにマッチング。
- ・凄く綺麗だと聞くので。
- ・スノーキャンドルはキレイです。
- ・大雪原にローソクの灯り。
- ・手作りだから。
- ・配慮に感激。
- ・花火が多くてきれい。
- ・花火等、雪上ロウソクが綺麗。
- ・光が綺麗だから。
- ・広い雪原の灯り。
- ・冬の外出する楽しみ。
- ・雰囲気が良いから。

- ・別世界を感じてほしい。
- ・ポスターを見て。
- ・毎日がゆきの中での生活ですので、一面のスノーキャンドルを見て春を感じてほっとします。
- ・雪国の美しさのある目を見張る景色に感激する。
- ・雪とキャンドル、花火が神秘的。
- ・夜の雪景色がとてもきれい。
- ・ロウソクの灯りが幻想的だから観てみたい。
- ・ローソクの中で広がるファンタジーを楽しんでもらいたい。
- ・ロマンティックな花火を見てみたい。
- ・小規模ながら幻想的などころ清津スキー場であるからあの風景が出ると思う。

( 53 ) 越後まつだい冬の陣  
理由

- ・一度も行った事がないから。
- ・行った事が無いので一緒に行きたい。
- ・同じ雪国のイベントの中でもユニーク。
- ・おもしろい。
- ・面白そうだから。
- ・活気があって面白そう。
- ・食い倒れ横町に行く。
- ・現住所。
- ・自分で参加出来るから。
- ・地元だから。
- ・地元を盛り上げたい。
- ・集中的な場所の為、移動が楽。
- ・食べ歩きができて、餅を拾えるから。
- ・近くだから。
- ・知人が店を出すので食べに行きたい。
- ・のっとれ松代城に参加させたい。
- ・のっとれ松代城に出てみたい。
- ・のっとれ松代城は見応えありそうだから。
- ・のっとれ松代城はユニークなイベント。
- ・バザー等、一緒に楽しめるから良い。
- ・松代の良さを残した為。
- ・マラソン大会では味わえない面白さがある。
- ・見てるとおもしろい。
- ・雪国らしく、楽しめる。
- ・雪の中の勇ましくたのしい頑張る所を見てもらいたい。
- ・レースが面白そうだから。

( 17 ) 松之山温泉スキーカーニバル  
理由

- ・観光客との交流。
- ・地元に住み、少しでも貢献出来ればと思う為。
- ・スキーが好きだから。
- ・スキーヤーに見せて感動させたい。
- ・近いから。
- ・孫を連れて。
- ・松之山温泉のお湯です。
- ・リフトが無料。
- ・毎年参加しているし、近所だから。

質問4 参加を承諾されなかった方にお伺いします。

(1) 参加を承諾されなかった理由は何ですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

( 32 ) テーマに関心がなかった

- ( 58 ) 市民討議会そのものに関心がなかった
- ( 79 ) 拘束時間が長すぎる
- ( 45 ) 休日は参加できない
- ( 117 ) 参加したかったが今回は都合があわない
- ( 84 ) その他

- ・高齢者はだんだん参加できない。
- ・自分より適任がいると思っ...
- ・20～30代の若い人の意見を多くするように。
- ・行きたい気持ちはあるが、年を重ねると行けなくなってくる。
- ・稲刈り。
- ・今まで知りませんでした。
- ・介護の母がいるのでデイサービスが休み。
- ・介護をする者がいる為。
- ・学生で十日町に居ない為。
- ・各地が地域性を活かして取り組んでいるので無理に連携する必要はない。
- ・各地区、各イベントの開催者同士連携して来場者にロコミチラシなどで宣伝する。
- ・家族の介護。
- ・合併前の地域の行事がそのままなので、十日町市として再編成出来る事はもっとコマーシャルをする。
- ・体の調子が良くない為。
- ・カレンダーのようにイベントのスケジュールを一枚に。
- ・現在療養中。
- ・公共交通機関では時間の良いのが無い。
- ・高齢で車が無い。
- ・子育て、家業に忙しくほかのところまで気も手もまわらない。
- ・子供の行事が重なった為。
- ・子供の保育園行事があるから。
- ・催事に対し意見を持っていない。
- ・参加しても述べる意見が無い。
- ・視覚障の為、どこにも行きません。
- ・仕事。
- ・自分が運転できない為。
- ・主催者はもちろん地域の人がまずはイベントを体験し楽しむようにしないと広がらない。
- ・出産を控えてる。
- ・出張中。
- ・出張の為。
- ・進学。
- ・精神障害の為。
- ・前イベント開催者は出ない方が良く判断した為。
- ・仙台の学校に通っており、長期休暇しか参加できないから。
- ・体調不良。
- ・地域活動。
- ・知的障害の為。
- ・都合が合わない。大地の芸術祭のように一つの冊子(パンフ)にまとめ特典をつける。
- ・テーマを同じにする。
- ・東京の学校に通っているため。
- ・特に意見する事ないです。
- ・年よりの出る幕ではない。
- ・話し合う事はとても良いことだと思います。とはいえ特別な考えも持っていません。申し訳ありません。
- ・冬のイベントは、若い人の意見を聞くべき。
- ・冬は車の運転、又置く場所が分からないと出かけるのがおっくになります。公共(その時だけ)の車(バス)などで気軽に行けるようになると参加する人がふえるのではないのでしょうか？
- ・別の皆さんからは是非。
- ・法事に招待されている為。
- ・ボランティアの為。
- ・本山で修行中の為。
- ・旅行が重なった。

(2) 市内各地で行われている冬のイベントをホワイトミュージアムとして連携させるにはどうすればいいと思いますか？ご記入ください。

- ・ 1月～3月までのイベントが見て楽しそうな一枚のポスター。
  - ・ 1月～3月までの長期観光プランを作る。
  - ・ HPやポスター等でもっと広告をする。
- あまり開催日が開かない方が良いと思う。同時開催で色々見てまわれるツアーやパック、割引券、参加割引券等たくさん発行できたら良いし、大地の芸術祭のように期間を長めに設定し、いつ来てもホワイトのお祭りという感じが良い・・・かな。
- ・ あまりにもイベントが多すぎてまとまりがない。
  - ・ 一括にして市内情報として観光案内的なチラシを作ってみてはいかがでしょう。
  - ・ イベントのPRを一緒に行い、参加者が計画的に参加できるようにする。歴史、特色を守りながらも他のまつりとの内容を確認、日程の調整などを行い、より魅力的なものにして行く。
  - ・ イベントを盛り上げるにはシルバーの男性が参加できるものとかを考えてみたい。シルバー男性の出かける所には妻シルバーや孫も出かける事でしょう。
  - ・ 今の時代は横文字ばかりで、何の行事だか解らない。もっと日本の田舎らしくあってほしい。
  - ・ 遠方からのお客様を長時間いられる様なものにしたら良いと思う。
  - ・ 大きな看板。
  - ・ お客さん目線で考える。
  - ・ 大人から子供まで楽しめるアトラクション。
  - ・ 同じイベントを組む・スポーツでも歌でも。
  - ・ 開催日程の調整とイベントのアピール方法の検討。
  - ・ 各イベント共通のテーマを作る。
  - ・ 各イベントに婚活を取り入れたらどうかと思います。
  - ・ 各イベントの実行委員会がホワイトミュージアムとしての連携を望むこと。
  - ・ 各行事を統一し、(一日目〇、2日目〇)外部からのお客様が一泊するようにイベントを構成する。
  - ・ 各地域で工夫をしなければ人は集まらない。
  - ・ 各地域の祭りには伝統がある。それぞれ尊重し応援と協力をし互いに参加し合うのでよい。
  - ・ 各地区のスポーツ、文化(舞り歌などの各団体)等沢山ある団体の交流を利用して人集めをする。
  - ・ 各月ごとに行われているイベントの期間を長くして、同じ日にすればいいのでは。大地の芸術祭みたいに臨時バスを出して巡回させる。ワンコインバスでもいい。
  - ・ 各まつりの実行委員会が話し合いなどの連携を取るべきだと思います。
  - ・ 各雪まつり会場でスタンプラリー形式をつくり、全会場のスタンプを集めた人全員にプレゼント。
  - ・ 川西の中子をもっと多くの人から利用してもらえる公園にしてほしい。例えば小動物園、遊具、ステージを作りコンサート会場など。
  - ・ 観光客、一般市民が気軽に参加できるようにする。
  - ・ 期間延長。
  - ・ 期間を調節して通して行えるようにした方がよい。
  - ・ 期日を長く、同じ時期にする。県内外の人が観光を兼ねて来れるように。全体的に再構築すべき。
  - ・ 旧市町村で行われている為、市民でも参加したことがないものが多すぎる。どんなイベントなのかの理解も関心も低いように感じる。まず、十日町市民の関心を高くしないと十日町のイベントとして大きく広まることは難しいのでは。
  - ・ 共通のテーマをもうける。
  - ・ 共通パスポートによるサービス提供。
  - ・ 共通ロゴ、何か有名なものを作って連携させる。
  - ・ 車の流れを一方方向にすること。
  - ・ 芸術祭のようにスタンプ式にしてどうか？夏場より移動に難点はあると思うが。
  - ・ 交通手段を考えてほしい。
  - ・ 個々のイベントの実行委員を他の地区のイベントに派遣し合って？
  - ・ このままでよい。
  - ・ 今回のチラシのように初冬にホワイトミュージアムに関係する催し物をすべての上で折り込みチラシなどでアピールする。
  - ・ 日時や内容なども書いてあれば出やすい。広報だけでは足りないホワイトミュージアムを前面に出せば良いと思う。
  - ・ 参加型イベント(雪像づくりや迷路)市民と県外、県内から来て頂いた人と一緒に楽しめるもの。
  - ・ 市外県外の集客をするなら連日にすればよい。興味があっても毎週は来れない。
  - ・ 市民が参加しやすい形態が必要。
  - ・ 市民の皆さんに見学や参加、関心を持ってもらう。

- ・シャトルバス(バス代100円程度)で各会場を自由に移動できるようにし、2~3日連続で時間も各地移動して観れるようにして、県外の人に宿泊して楽しんで行ってもらえば地元も経済効果があり良いのではと思う。
- ・宿泊施設が不十分でなかなかお客を呼べない。雪が多いと駐車場確保が難しい。
- ・宿泊施設の確保の必要。
- ・春夏秋冬の行事のたびに、それぞれの行事の日程も入っているパンフレットを渡す。
- ・上記の行事を一週間以内に全て開催し、「総合十日町雪まつり」として全国発信したらどうか？
- ・情報誌を出して、出かける計画を立てやすくする。
- ・職場のないところに観光に行っても無理なのでは。
- ・人口の減少を食い止めるには若者の人口を増やす。こと！！人口が増えている都道府県の中の上位に滋賀県が入っている・・・と聞いた。大学の誘致などに力を入れているということです。
- ・スタンプラリーでホワイトなプレゼントを贈る。
- ・スタンプラリーのようにし、いくつか参加すると特典をつけるなど。
- ・すべてをホワイトミュージアムにしなくても、互いのイベントに出展するとか、参加するとか。
- ・積極的に参加するにかぎる。
- ・雪像が散らばり過ぎている。
- ・全イベントに関連するサービス、クーポンを用意。
- ・宣伝したり、グルメやスイーツのスタンプラリーなどと抱き合わせで開催する
- ・専門学校を立てて学生を呼んで。
- ・大地の芸術祭のように、ホワイトミュージアムのロゴや旗等を使う。
- ・大地の芸術祭のように一冊のパンフを作っては。
- ・他県、他市への広報の充実、ツアー設定。
- ・ただ「このような冬のイベントが各地にある」と宣伝するのではなく、「それぞれのイベントが単独(バラバラ)のものではなく、他のイベントも含めて一つの大きなグループ(ホワイトミュージアム)の一部である」ことを積極的にアピールする。開催時期の早い順に、詳しい日付と場所を明記したマップをつくり、各イベントや道の駅などで配布する。
- ・駐車場の確保。
- ・テーマを決める。
- ・伝統ある行事が多いので日程変更は難しいとは思いますが、少なくとも同じ日にイベントが重ならないようにするのが一つのステップになるかと思う。
- ・統一されたイメージのポスター・シンボルマーク・案内を作る。
- ・統一した宣伝でイメージアップ。
- ・統一の旗を使用する。
- ・同日に行い無料バスを運行する。
- ・どうして英語にしなくてはならないのでしょうか？若者対象のためなののでしょうか？美術館とはつながらないのでは？
- ・どうして連携させたいかの説明がほしいです。初めて聞きました。
- ・十日町市と各イベントの代表者を集め、話し合いをすれば良いと思う。
- ・十日町雪まつり、雪のカーニバルの場所を変える。
- ・十日町雪まつりと雪原カーニバルなかさと越後まつだいで冬の陣を月間なり週間として、十日町雪まつりの前後に組み、来場者の滞在期間を長くし、相乗効果を期待する。
- ・どのイベントにもシャトルバス等の運行。
- ・どのイベントも慢性化していて若者にとって魅力がないと思います。
- ・何をどのように連携させたいのか不明。
- ・なるべく同日にまとめる。
- ・バスでの移動が出来るとうれしいです。
- ・パソコンを使い、インターネットで多くの人に紹介する。
- ・一つのイベントを複数日にしてイベントを連携させる。
- ・病院もそうですが、若い人達、家族が遊べるような広場はどうですか。
- ・冬の十日町ということで統一チケットなどの販売は？
- ・冬は一箇所に雪像を作る。
- ・冬は気候的に厳しいので、十日町雪まつりを中心にしてその他の2か所くらいに絞って(毎年2か所づつ連携する地区のイベント)すれば客も分散しないと思います。
- ・殆ど屋台イベントや伝統行事なのに「館(建物がある)」「展示」のイメージの強い「ミュージアム」の名称を使う理由を教えてください。
- ・ホワイトミュージアムという言葉の周知がまずは必要かと思おいます。
- ・ホワイトミュージアムというものが、あまり知られていない。各地域でそれぞれのイベントで何か共通するものがあれば良いと思う。(3ヶ所訪れると抽選で何かプレゼント、共通のキャラクターなど)
- ・ホワイトミュージアムとして、毎年テーマを決めて、それぞれのイベントでテーマに合うことをする。
- ・ホワイトミュージアムの名称は初めて知った。

- 毎週のように続くので、少しまとめて日程を組む。
- 毎年テーマをひとつにしてそれに沿ったイベント展開をする。
- 難しいかもしれませんが、それぞれのアンケート(簡単なもの)を行ってもよいのではないかと思います。
- もっと宣伝して欲しい。
- 雪下ろしや除雪作業で雪国の厳しい生活を体験してもらおう。
- 良く解らない。
- 利便性をよくする。
- 連携させる必要なし。各イベントが地区の特色を生かした今の形態で良いかと。
- 連携の意味は今更あるのか？
- 連携の必要無し。
- 若い人に帰ってきていろいろやって欲しい。
- 若い人の出会いの場を利用してはいかがでしょうか。お見合いとか。
- 若者(団体)の力をもっと使う。
- 地域で地元の人が続けてきた歴史を受け継いでいるので、地元の人々の気持ちや考えを大切にしてほしいです。

(3) 今後、「とおかまち市民討議会」で取り上げて欲しいテーマがありましたら、ご記入下さい。

- 24時間営業の店が欲しい。
- TPPについて。
- 空き家+農地(農業)+子育てで移住してくれるような計画はどうですか？
- 遊ぶ場所。長岡の千秋までとは言わないが、家族で一日過ごせる憩いの場がほしい。
- 新しい産業について。
- アニメフェス。
- 安心と安全で住みよい環境づくりと地元文化の伝承と保全。
- 介護と医療。
- 克雪、厳しい冬、高齢者でも、一人暮らしでも、体が不自由でも安心して暮らせるまちづくり。
- 過疎地の文化保維について。
- 観光は産業になりうるのか？
- 企業の誘致について。
- 気候の比較的良好な時期(5月から10月)に若者層に重点を置くイベントの企画も必要と思います。
- 着物の町。
- 原発事故の際の対応シュミレーションを半日ぐらいで。
- 高校生、中学生の通学マナー。
- 交通機関について。
- 高齢化対策。
- 高齢世帯の冬の間不安を解消できるようなテーマ。
- 国道の二車線化の早期工事の完成。
- 子育て支援(小児科増院・病児保育の増加)。
- 子育てしやすい十日町市。
- このようなアンケートは続けてほしい。
- 雇用問題。
- 婚活。参加を募る婚活行事は積極的な人達しか参加しない。(少数)多いのは消極的な人と、自信を持ってない人が大半。それらの人達を参加させて楽しい思いをさせる婚活を、誘い方・イベントの内容も含め工夫する。
- 災害について。
- 仕事。若者のUターン。
- 市民の交流の場作り。
- シャッター通りの活用について。
- 少子高齢化。
- 消防団の組織について。
- 除雪対策。特にジャスコの前の通りがひどい。
- 人口の減少、若者の職場づくり、税金の無駄遣い。
- 人口を増やす為には。
- 住みやすい町にするにはどうしたら良いか？
- 成人式について。合同だと見に行けないので以前のように各地区で行ってほしい。
- 雪害について。
- 全国的に十日町の観光地としての知名度を上げるためには。
- 大規模市民公園の設立について。高齢化に向けて集いの場とする。



- 大地の芸術祭に大勢の人が来てもらうには？
- 田植え、稲刈りツアーオーナー制等、自然と共に感動できる場所、関東方面にPRしてはどうか？
- 地域医療の充実と交通網の整備。
- 地域協議会単位での遊休施設活用について。
- 地域の自然と伝統文化、国宝など当市の財産を大切にしたい社会づくり。
- 地方の産業を活発にする討議。
- テーマというより要望ですが60代よりもっともっと若手を世の中に出してください。
- テーマとは関係ないが夏フェスをしてほしい。
- 十日町おまつり。
- 福祉(困った時の相談窓口)。
- 福祉・介護。
- 冬以外のイベント。
- 北陸新幹線開業にともない飯山市内への時間短縮。
- 本町の空き地対策。
- まちなか活性は一生懸命だが、中心から離れた所は手つかず。その辺の取り組みについて。
- 松代駅周辺が資材置き場になっているが、中心市街地だけではなく松代地区等の活性化について。  
民間の事業プランコンテストのイベント化。(市職員や学生を対象としたものはあるが、一番現実を知っている民間企業や個人を対象としたものが無い。さらに現在行っているものより楽しいイベントとして若者をもっと引き込まなければいけないと思う。)
- 無料駐車場の確保。
- もう少し年寄りとの調和を考えて欲しいです。
- 夜間、休日の小児救急対応の在り方について。
- 雪まつりカーニバルにきてくれたお客さまで、もう一度来てみたいと思っている方の割合はどれくらいなものでしょうか？
- 雪を活用した誘客イベントも多いが、雪を活用した生産性のある活動を推進して、少しでも地域にお金が落ちる方法。
- ゆるキャラの活用法。  
老人クラブでゲートボールをやっている暇があるなら、野菜でも育てて売って小遣い銭を稼ぐような意識を持って欲しいが、その為にはきちんとしたシステムが必要。
- 老人の冬の生活について。灯油や電気代などの日常生活の問題。
- 若い世代、子供が増えるには。市内が賑やかでなければ何をやっても今後盛り上がりがない。
- 若い人をいかに多くするか。
- 若者の考えや意見、行動力に協力。
- 若者の地元での就職について。
- 若者の人口増加(特に女性の定着)。
- 若者の地域定着について。結婚問題とか職場さがしとか祭り参加とか。
- 若者をいかに地域活動に積極的に参加させるか。
- 私の地域は空き家や空き土地が増えてます。活用していただきたいし、そういう場所も注目していただきたい。
- 高齢化対策。
- 観光面は市への来訪者の継続的な増加を考え毎年のJRでの信濃川ロマン号SLの定期運行はどうか？大井川鉄道、秩父鉄道に学ぶものは大きいと思う。
- なぜ十日町は結婚しないのであろうか。自分中心な考えなのだろうか。少子化＝結婚しない＝なぜそうなったのかテーマにして欲しい。

お忙しいところ、ありがとうございました。

# とおかまち市民討議会 2013

Voice to Voice ～響かせよう、あなたの声を～

【当日プログラム】

日 時： 平成25年10月20日（日） 9：30～16：25  
 場 所： 十日町市千手中央コミュニティセンター 千年の森ホール  
 テーマ： 「盛り上げよう！ホワイトミュージアム！」

時 間		内 容
9:00～		受付開始
9:30～9:40	10分	開会あいさつ 社団法人十日町青年会議所 理事長 涌井 紀秀 十日町市 副市長 村山 潤
9:40～9:50	10分	趣旨説明およびプログラム説明 討議・発表・投票のルール説明 社団法人十日町青年会議所 社会開発委員会 委員長 俵山 忠之
9:50～10:50 【第1回情報提供】	60分	テーマ：「市民が参加したいと思う雪まつりとは？」 【パネルディスカッション】 ・十日町雪まつり代表 ・松之山スキーカーニバル代表 ・かわにし雪まつり代表 ・いいやま雪まつり代表 ・雪原カーニバルなかさと代表
10:50～11:00	10分	* * * 休 憩 * * *
11:00～12:00 【第1回話し合い】	60分	【第1回話し合い】 ワークショップ テーマ：「市民が参加したいと思う雪まつりとは？」
12:00～13:00	60分	*** 昼食休憩 ***
13:00～13:45 【第2回情報提供】	45分	テーマ：「市内各地にある雪まつりを連携させるには？」 【パネルディスカッション】 ・十日町雪まつり代表 ・松之山スキーカーニバル代表 ・かわにし雪まつり代表 ・いいやま雪まつり代表 ・雪原カーニバルなかさと代表
13:45～13:55	10分	* * * 休 憩 * * *
13:55～14:55 【第2回話し合い】	60分	【第2回話し合い】 ワークショップ テーマ：「市内各地にある雪まつりを連携させるには？」
14:55～15:25	30分	☆☆ まとめ ☆☆
15:25～15:50	25分	【 発 表 】 5分×5グループ
15:50～16:05	15分	【 投 票 】
16:05～16:15	10分	【アンケート実施】
16:15～16:25	10分	閉会あいさつ 十日町市 産業観光部 観光交流課 課長 渡辺正範 社団法人十日町青年会議所 副理事長 柳 典孝

## テーマ選定理由

---

### 「盛り上げよう！ホワイトミュージアム！」

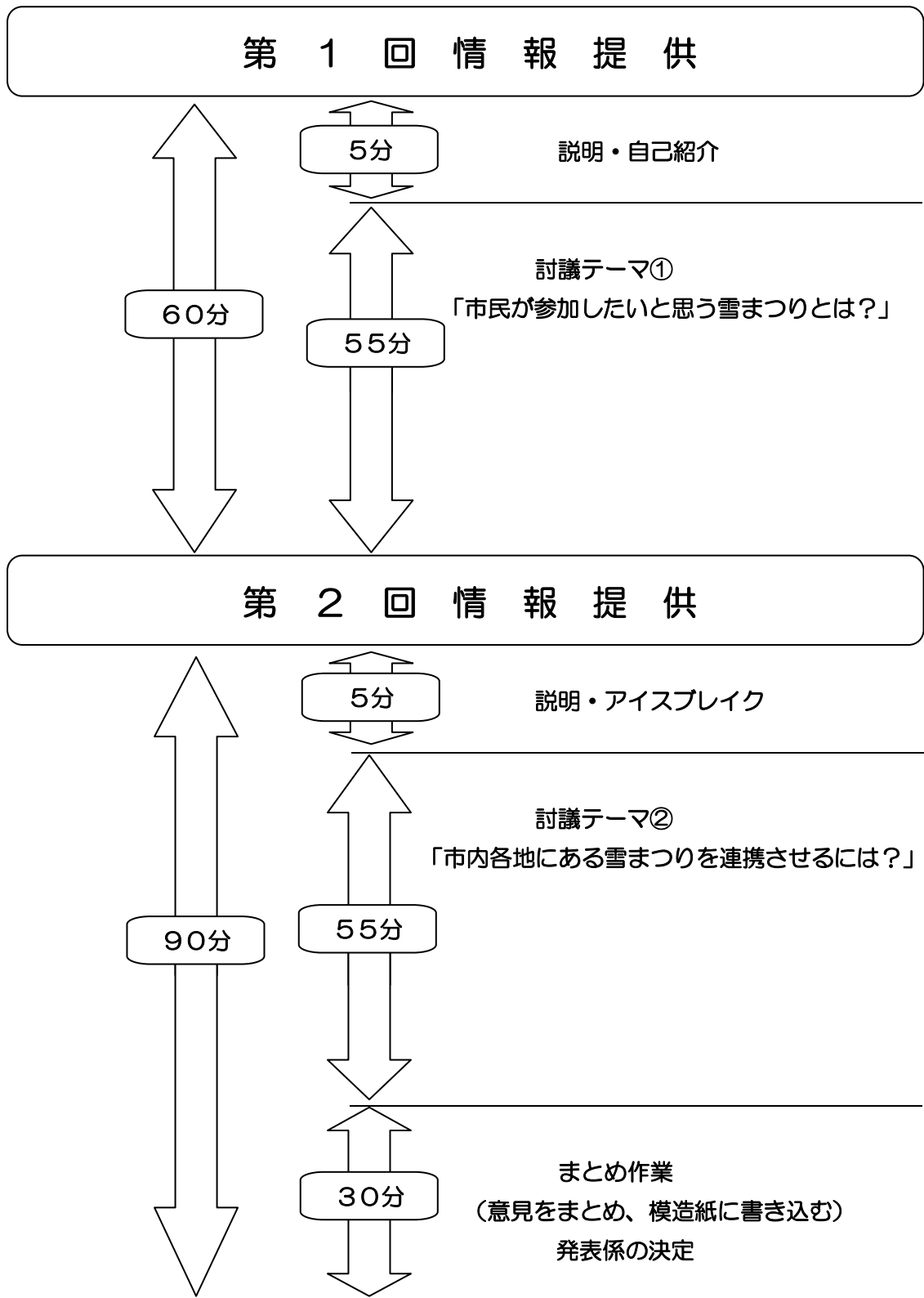
豪雪地として有名な十日町市には様々な雪に関するイベントがあります。歴史や内容も様々ではありますが、長きに渡り続けてこられたのも「前回よりも良いものを作りたい」と毎年工夫を凝らし続けてきた市民の力があってからこそだと感じます。しかし、現在、人口の減少や高齢化社会によりイベントの縮小や雪像数の減少などが進んでいるように感じます。

今回はテーマを「盛り上げよう！ホワイトミュージアム！」として行いました。午前中に小テーマとして「市民が参加したいと思う雪まつりとは？」午後に小テーマとして「市内各地にある雪まつりを連携させるには？」として討議を行なっていただきました。

これらのテーマから改めて市民が様々な形で参加することができ、この時代に合った、そして今後も持続、発展し続けることができる雪まつりの方向性の確立を目指しております。また、午後のテーマに関しては、雪まつりだけではなく十日町市内にはたくさんの雪に関する冬ならではのイベントがあります。市町村合併により同じ十日町市内でも市民にあまり知られていなく、行ったことがないものもあります。十日町市の冬には雪まつりだけではなく、その地域で伝統ある催しがあり、もっと広く発信できると考えています。これらの雪に関するイベントと雪まつりを含めたすべてのイベントを連携させて十日町市の冬を長い期間をかけて楽しめる地域と出来ればと考えております。

十日町市民にとって身近で馴染みの深いテーマではありますが、特定の専門知識のある経験者だけではなく、このまちに住む市民の方々から十日町の冬や雪に関するにことについて討議いただき、自分たちのまちを自分たちで盛り上げて行きましょう。

# 話し合いのながれ



発 表 ・ 投 票 へ

## 話し合いのルール

1	参加された皆様のお互いを尊重し合う為に、「さん」づけで呼び合ってください。
2	全て貴重なご意見です。相手の意見を否定しないで尊重して下さい。
3	恥ずかしがらずに、気軽に発言提案して下さい。
4	みんなが発言できるように、わいわい楽しく気軽な雰囲気心がけて下さい。
5	意見は最後まできちんと聞いて下さい。
6	話合った結果をグループの方みんなでまとめて下さい。

## 第1回 情報提供 パネルディスカッション (60分)

---

- コーディネーター 社団法人十日町青年会議所 副理事長 中林 寛暁
  
- パネリスト
  - ・上野ほんやら村実行委員会 渡貫 文人
  - ・元気印頑張隊R 藤木 剛史
  - ・下条田舎のひろば 小泉 等
  - ・松之山温泉組合 小野塚 賢
  - ・いいやま雪まつり実行委員会 坂東 武文

### テーマ「市民が参加したいと思う雪まつりとは？」

- コーディネーター自己紹介、テーマ紹介、本日のルール説明 (4分)  
(順番、呼び方、各自の持ち時間など)

- パネリスト自己紹介 (10分：2分×5名)

氏名、所属雪まつり団体、その団体での経歴、職業、その他趣味や街での活動など

- 個別設問 (45分)

#### ① 携わっている雪まつりの歴史と現状について (3分×5名)

(設営側で参加している方はどんな方々なのか？来場者はどのような方が中心なのか？ [街の人・観光客など])

- ・川西雪まつり

川西地区内では毎年10会場で雪まつりが行われている。それぞれの地区で各地域の住民が設営や運営を行っている。それぞれの会場で子どもたちが楽しめるようなイベントを開催し、子どもから大人まで住民が楽しめる会場を設営しています。

- ・雪原カーニバルなかさと

地域内の実行員が25人くらいと100人を超えるボランティアで設営していて、毎年県内外から多くの来場者を迎えています。キャンドルは来場者に作ってもらいますが、地域住民が自主的にスキー場までの道路脇の雪壁に灯籠を作っています。

・下条田舎のひろば

十日町雪まつりの各ひろばの中で一番多くの雪像を作っているひろばで、来場者にはゆっくり雪像を見てもれえるように居心地の良いひろばを目指しています。そして、最近では雪像制作中の写真を撮りに来られる方も増えてきています。しかし、設営は20人くらいの決まった人達で行っているので人手が無いのが現状です。新潟、長岡方面から来ると一番最初のひろばなので十日町雪まつり全体の玄関口のひろばとして来訪者のおもてなしに努めています。

・松之山

むこ投げ、すみ塗り共に江戸時代から伝わる小正月に行う行事です。現十日町市の中でも歴史のある伝統行事として発信しており、県内外から多くの見学者が訪れます。観光として有名になっておりますが、何よりも自分達の集落が楽しむ事を一番に考えて設営しています。

・いいやま雪まつり

いいやま雪まつりは克雪から遊雪を原点に来年で32回目を迎えます。市民の手による大型の雪像や、街の通りを小型の雪像で飾る雪像ストリート、地元小中学生による各学校での雪像など、100体以上の雪像が市内全体にあります。来年は誰の為の雪まつりかを考え、「市民の為の雪まつり」であるという事を一番に考えて行う予定です。しかし、人手が無く建設業や青年部を呼んでいますが、人手確保がなかなか難しいのが現状です。

② 手本にしている祭について (3分×5名)

(目標や今後どうしていきたいか)

・雪原カーニバルなかさと

地域経済への効果などの面で、十日町雪まつりを手本としている。自分たちの集落でひろばを設けて、来場者参加型のイベントで行っている。

・下条田舎のひろば

下条では手本にしているひろばはありません。雪まつりと言えば札幌雪まつりと比較されることが多いですが、コンセプトなど全く別の祭りと考えているので参考にしているところは特にありません。ただ、雪像が多くあることをアピールポイントにして、何より自分たちが楽しめる雪まつりで、できれば多くの団体を巻き込んで行いたいと思っています。

・松之山

何かを手本にしているわけではなく、自分たちが楽しむことを考えていますし、歴史ある行事なので昔ながらの伝統を重んじています。

・いいやま雪まつり

いいやま雪まつりは十日町雪まつりを手本にしています。十日町雪まつりのように地元の人に楽しんでもらう雪まつりを目指しています。

・川西雪まつり

下条のひろばのように色々な団体を巻き込んで行きたい。バイトウや雪上運動会など、独自の行事があるので、観光的に見れば面白いと思う。

③ 雪まつりは誰のためにあるものだと考えているか（3分×5名）

（市民参加の雪まつりについての賛否や現場の『生の声』を届ける）

・松之山

松之山は人との繋がりを大事にしています。歴史もあり伝統文化でもあるので、観光などの来場者のためだけではなく、地元住民が繋がりを持って参加してもらいたいと思っている。

・いいやま雪まつり

市民の為の雪まつりだと思っています。地元の中高生からも100人くらいボランティアとして設営に携わってもらっています。来年32回いいやま雪まつりは、雪まつりは誰の為？をテーマに開催し、市民の為であり、市民の祭りとして認知されるよう更なる発展を目指します。

・川西雪まつり

それは自分たちの為です。地元川西地区を盛り上げるために行っています。しかし、若者が少なく次世代へのバトンタッチが課題です。

・雪原カーニバルなかさと

雪原カーニバルなかさは来場者参加型のイベントなので、他からお客を呼ぶことを目的としていますが、それが地域の為であり、何より自分たちが楽しむためのイベントになればと思っています。



・下条田舎のひろば

今回十日町雪まつりの中で、数多くある中の一つのひろばの代表で参加させていただいておりますが、それぞれのひろばが、それぞれの目的を持ってひろばを開催しています。その中で、われわれ下条のひろばは、多くの団体から雪像を作っただき、多くの方から雪像を見に来ていただいて、雪まつりを楽しんでいただいております。会を重ねるごとに、雪像作成団体も増えたり、雪像作成中の状態を見に来てくれる来訪者がいたり、外部の方の注目も高まっております。しかしながら根本には、地域の住民が楽しむことが重要です。誰の為？と一言で言うのであれば、自分達の為です。

# 討議実施結果

グループ① メンバー 稲田 関口 小林 清水 北村

討議テーマ①

## 市民が参加したいと思う雪まつりとは？

作業スペース

### 動機

- ・自分が参加したことによって、他の人がよこんでくれるような事がしたい
- ・自分が主催者だと思える事(雪像作りに参加)
- ・雪まつり会場に行っても何でも良いから参加して良かった内容(住民が楽しめる)
- ・とにかく楽しいこと。自分が楽しめることがいいかな(雪の無い所の人たちが羨むようなこと)

### 目的

- ・美しいこと。雪のロマンティックさを活かして。大げさでなく、身近なところで。

### 交通

- ・車を止めるスペースが有り、とても生きやすい所
- ・送迎のバス等交通手段がほしい
- ・知ってる人に連れて行ってもらいたい(よその地域の雪まつりとか)
- ・山のステージは良いのですが、すぐ近くに作品がないです(観光客からの意見です)

### 参加者

- ・若い人が居なくなったので、作品作りが大変です。実際、5, 6人です。そのような作品も認めてほしい。
- ・美しい雪像が1ヵ所か2ヵ所に多く作ってある。そこでランクをきめる。
- ・若い人たちのパフォーマンスをお茶を飲みながら見れる。

### 設営

- ・子どもから大人まで楽しめるゲーム。例えば、老人と幼児が手をつないで雪の上を走る様な事
- ・市民参加(会場にいる)ができるゲーム(じゃんけん大会)等。景品が出る物があれば良い
- ・子どもが遊べる所があっても良い
- ・メイン会場には立派な雪像がほしい
- ・大きなイベントが欲しい(花火や音楽等)
- ・芸能人が来た方が盛り上がるから呼んで欲しい
- ・おいしいものが食べれる。お土産がもらえる
- ・色々なものが食べれると良い(屋台とか)

まとめ  
(3つ以内)

- 世代を超えて気軽に参加できる
- 細かい所まで回れる交通手段の充実
- 若い人が参加できる環境作り

残したい意見

- 世代を超えた「ウルトラクイズ」
- 「美」をテーマとした雪まつり

# 討議実施結果

グループ② メンバー 村山 小宮山 横山 重野 小島

討議テーマ①

## 市民が参加したいと思う雪まつりとは？

作業スペース

### 見たいイベント

・雪原カーニバルなかさとのキャンドルを見てみたい

・なかさと雪原カーニバル一度雪原のキャンドルを見てみたい

・雪まつりバスツアーで楽しむキャンドルに行きたい

・近くで見る花火はすばらしい

### 地域の力

・下条 田舎のひろば

・大白倉のバイトウ集落の皆さんが楽しんでいるのを参加して感じたい

・感動できる雪像が観たいです

### 食

・県外の人から来てもらうようにアピールをした方が良いと思う

・おいしいものがたくさん食べれる雪まつり(県外のおいしいもの)

・寒い会場での温かい飲物にでありたい

### 交通

・バスツアーは是非運行してほしい

・行きやすい近場or交通便利

・会場めぐりバスツアーは良いと思う

・バスツアーは大変良いと思う

### 音楽

・音楽がたくさん聞ける雪まつり(外で)

・有名人を見たい(演歌)

・豪雪JAM

・意外と気がつかない雪の風景(ステキな!)を観に行く雪まつりツアー

まとめ(3つ以内)

交通体制の充実(地域の人たちの為にも必要)

雪原カーニバルのような幻想的な風景を見たい

食文化を大切にするイベント

残したい意見

意外と気がつかない雪の風景を観に行く雪まつりツアー

# 討議実施結果

グループ③ メンバー 高野 吉澤 瀧沢 寺崎 関口

討議テーマ①

## 市民が参加したいと思う雪まつりとは？

作業スペース

### 賞・景品

・町内がけっこう繋がっている所なので、雪だるまやかまくらなど簡単なものを作り、一番おおいで賞、一番かっこいいで賞、入ってみたいで賞など市民で気楽に評価(遊び心で)出来たら楽しいと思う

・参加することで景品がもらえる(雪像の前で写真を撮り、それを現像してあげる等)

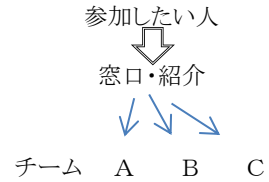
### 学校へのお願い

・飯山の坂東さんのお話すごくいい。大地の芸術祭もそうですが、何で地元の学生を使わないのですか、いつも疑問である。10代のうちから見ただけでも関わっているだけでも、その子に「地元に戻ったらいつにはこれをする。人が集まって何かをするってのしいな」という気持ちが芽生えるはず。

・人手が足りなくて要請が有れば雪像作りに参加する。(高齢で体力も無いので接待等) 県外からのお客さん(同級生)等に地域の良さを伝える。当日等の案内役もする。

### 募集の方法

・地域や派閥に属してなくても雪像作りに参加できるような窓口があれば良いと思う。



※都合に合わせて割り振り

・以外にもどこでいつ、何をやっているか分からなかったり、気づかなかつたりしている。冊子やポスターが作られているが、もっと解りやすい何かがあれば良いと思う。雰囲気伝わると良い。

### 交通機関整備

・駐車場が多くあり、交通の便が良い。除雪されている。温かくて外でも過ごしやすい

・市街地の作品等も見たいが、駐車場も少なく、作品場所も分かりにくいので、市外から来た人にも解りやすくしてほしい。

・下条の大看板2つの話のように分かりやすい表示が町中にもあれば良い。広場自体行ったことが無いと解らないし、車の置き場所に迷う。共通の看板があると良い。

・ステージ場所の変更

### 下条地域を見習う

・パネリストのお話を伺って、下条地区のような広場があれば参加しやすいかと思った。(雪像作りのバックでお茶出し等) 今、全くノータッチ。妻有S・Cで働いているのでかやの外感がずっとある。(何の祭りでも)

### 休み

・参加できる時間がある  
仕事で休みになる  
振替休日がある 等

### 何の為にするのか

・何の為に雪まつりをするのか

まとめ(3つ以内)  
残したい意見

交通機関整備

学校へのお願い

募集の方法

何の為にするのか

賞・景品

# 討議実施結果

グループ④ メンバー 水落 野上 相澤 星名

討議テーマ①  
**市民が参加したいと思う雪まつりとは？**

作業スペース

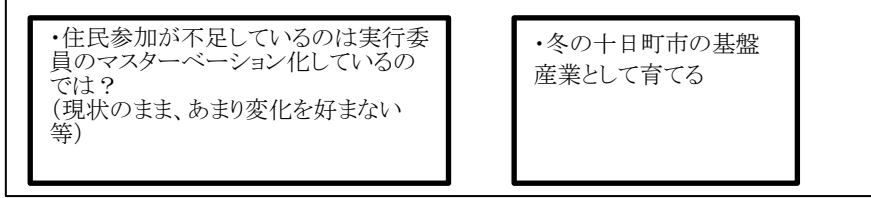
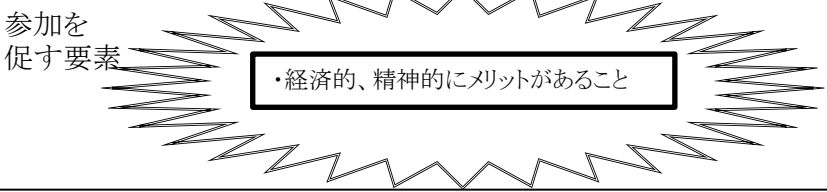
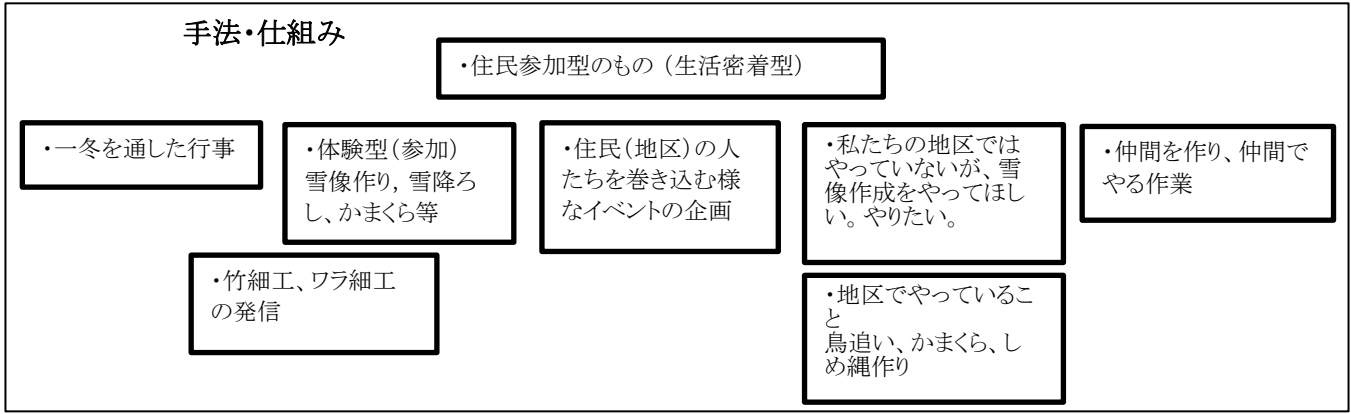
・イベントに楽しさ、感動があれば参加したい

・十日町市民が楽しむ雪まつりにするのにか？

・世界、全国の観光客が十日町市へ来訪する雪まつりにするのにか？

・市民も観光客として参加できるように

・観光客に感動して頂く企画。(市民が黒子で参加できる)



まとめ(3つ以内)  
 残したい意見

市民参加の為には”楽しさ”や”感動”が必要

市民参加の為に、企画を改めて整理する

## 第2回 情報提供 パネルディスカッション (45分)

---

●コーディネーター 十日町市役所 産業観光部 観光交流課 主任 西野 将

●パネリスト

・上野ほんやら村実行委員会	渡貫 文人
・下条田舎のひろば	小泉 等
・元気印頑張隊R	藤木 剛史
・松之山温泉組合	小野塚 賢
・いいやま雪まつり実行委員会	坂東 武文

### テーマ「市内各地にある雪まつりを連携させるには？」

●コーディネーター自己紹介、テーマ紹介、ホワイトミュージアムの紹介 (3分)

●個別設問

① ホワイトミュージアムとして十日町市の雪まつりの連携をもたせることについてどう考えているか？他地域での連携実績など

※今回は連携の是非では無く、こういった連携が考えられるかを話して下さい。

・雪原カーニバルなかさと

今回は連携についてということで、中里では連携しているというか地域住民が自ら道沿いに雪像を作るなどを行っています。他地域との連携ではチラシなどで一つのイベントとして広報をすることや、次に行われるイベントのPRを行うとかくらいしか今は思いつきません。

光のイベントの連携、なかさとはキャンドルなので炎ですが、それが出来ればいいと思います。

・かわにし雪まつり

他の雪まつりイベントの良い所を少し取り入れていき、連携というか真似というかをしています。ただ、なかさとのキャンドルなどを取り入れて連携を行って行けば、良くなっていくのかなと思います。

翌日に別会場でイベントを開催するとか、日程の調整を行い短期間で続けてイベントの開

催を行えば、できればですが、良いと思います。

共通のテーマがあればいいのかなと思います。各イベントで共通の食材を使うなど。

・下条田舎のひろば

十日町市内での連携の話ですが、雪国観光圏などもっと広域での視点から連携を考えなければ十日町のホワイトミュージアムとしての連携も難しいと思う。

・松之山

前に十日町雪まつりのカーニバル会場でむこ投げを行いました。設営が大変ではありましたが、連携はしたことがあります。宿泊者の送迎など準備は大変ですが、嫁投げなどもできれば面白いかもしれません。

写真を使ったコンテストが良いと思います。最近は写真家が増えていますし、各イベントの写真であったり、風景などでもいいと思います。

・いいやま雪まつり

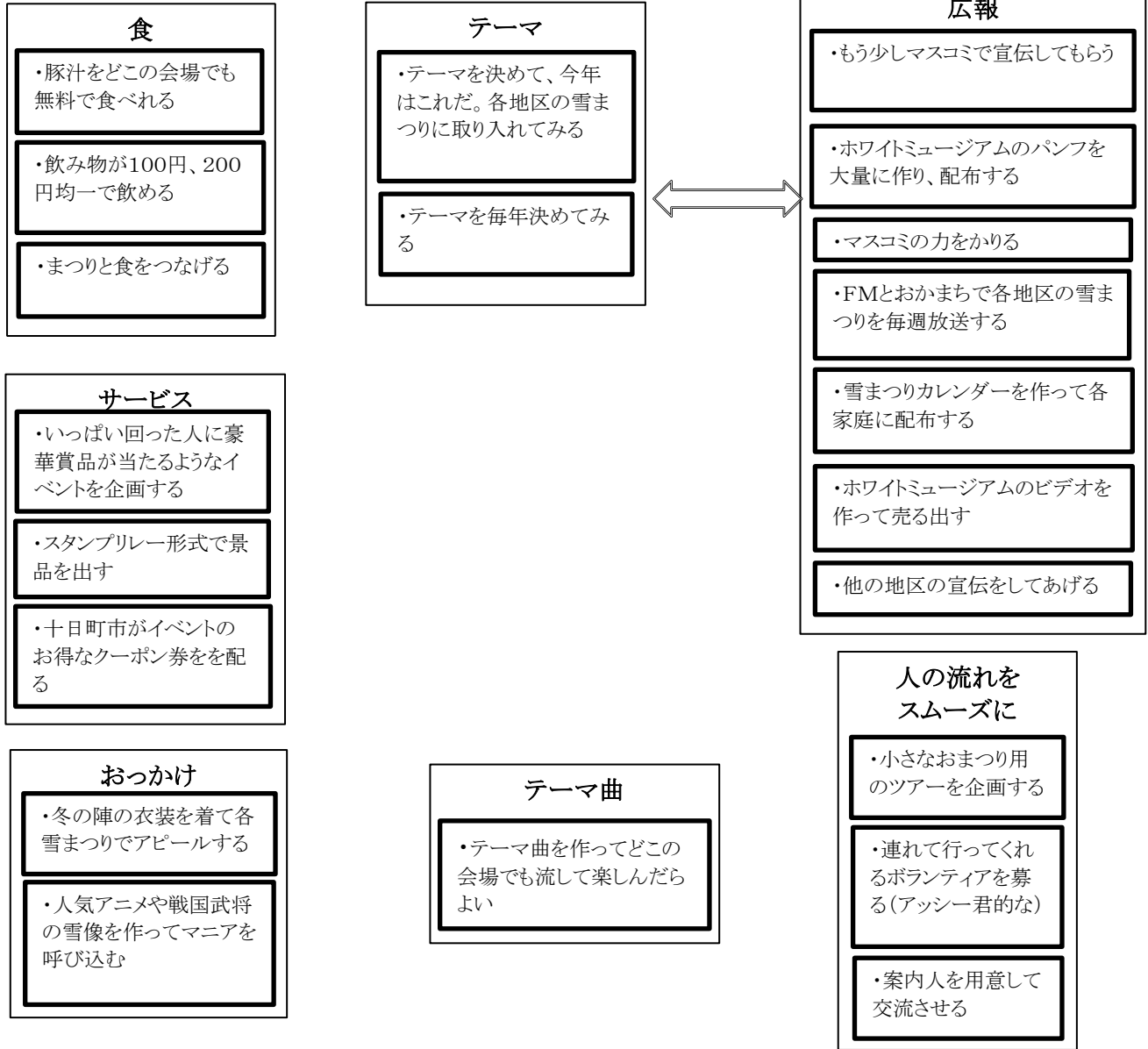
連携と言われて思いついたのが、広報面で国道117号線沿いに看板告知を行うことです。次に行われるイベントの告知看板が時期に合わせてあれば良いのかなと思います。

# 討議実施結果

グループ① メンバー 稲田 関口 小林 清水 北村

討議テーマ②

## 市内各地にある雪まつりを連携させるには？



まとめ  
(3つ以内)

テーマ曲を作ってどの会場でも流す

おたくを取り込む

テーマを決めて統一した広報をする

残したい意見

他の会場の宣伝をする

共通クーポンを作る



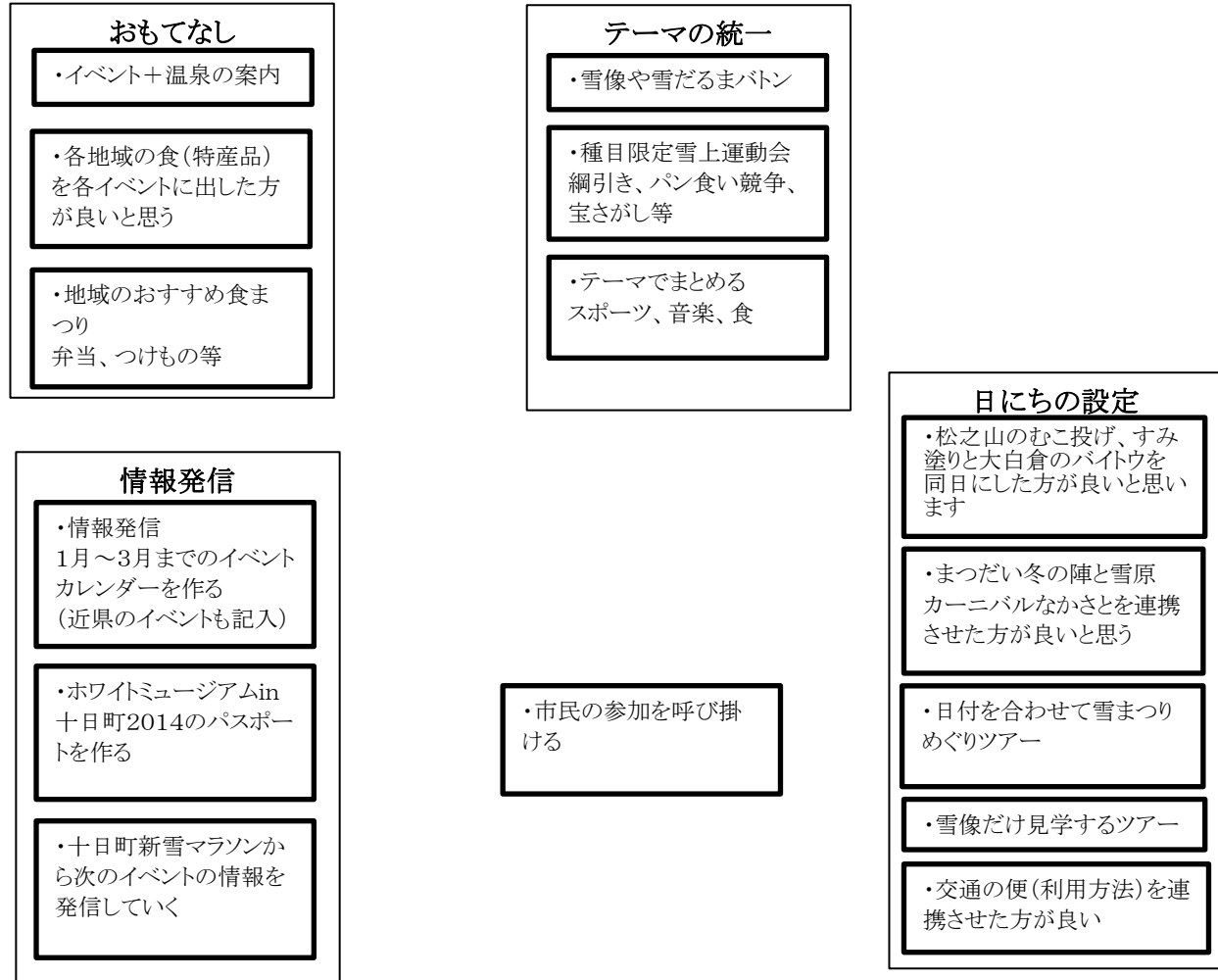
# 討議実施結果

グループ② メンバー 村山 小宮山 横山 重野 小島

討議テーマ②

## 市内各地にある雪まつりを連携させるには？

作業スペース



まとめ  
(3つ以内)

地域の特色を活かした食事を提供してもらい、食を中心に連携させる

パスポートを作り地域の情報発信を行う

雪像など一つのテーマを絞り、各会場で必ず作ってもらう

残したい意見

市民の参加を呼び掛ける

# 討議実施結果

グループ③ メンバー 高野 吉澤 瀧沢 寺崎 関口

討議テーマ②

## 市内各地にある雪まつりを連携させるには？

作業スペース

### 情報発信

・情報発信。各イベント会場に訪れた方に、次のイベント開催を知らせる。  
観光パンフレットの見直しで、最初のページに全体のイベント等を載せる。  
県外から訪れる方の為、湯沢駅に案内(のぼり旗)を出す。

・見どころ、参加しどころのテーマを絞った紹介の仕方をする。  
風景が見たい、運動がしたい、写真を撮りたい等

・1月～3月迄の写真入りカレンダー製作

・各イベントの一角に、他のイベントの紹介コーナーを作る。

### 行政

・組織の一本化

### おもてなし

・冬なので外から来た人が望む事として、トイレ、お茶を飲める所がたくさんほしい。  
これはキルト展に来た方からも声が出ます。

・富士の”風の盆”はとても上手くやっている。通りがいくつも有り、それぞれ踊りも違う。お客さんはつい別の踊りが見たくて歩かされる。  
雪像も一ヶ所で作れば良いが、作業的に難しいと思うので、回遊させられても苦ではない仕組みを考えたら良いと思う。

### イベント

・キャラクターを活躍させる。  
(イベント参加、レポート等)  
グッズ販売等を行う。

・参加型のイベント

### 情報発信(市内)

・十日町地区内でのイベントを地元の人にもっと知ってもらおう。

・駅の近くに観光協会の支所が無い。小さくてよいのであれば良い。  
そこに雪まつり関係の日程、地図を置いてほしい。コンビニ等にもあると良い。

まとめ  
(3つ以内)

情報発信(市外)

情報発信(市内)

行政

残したい意見

おもてなし

イベント

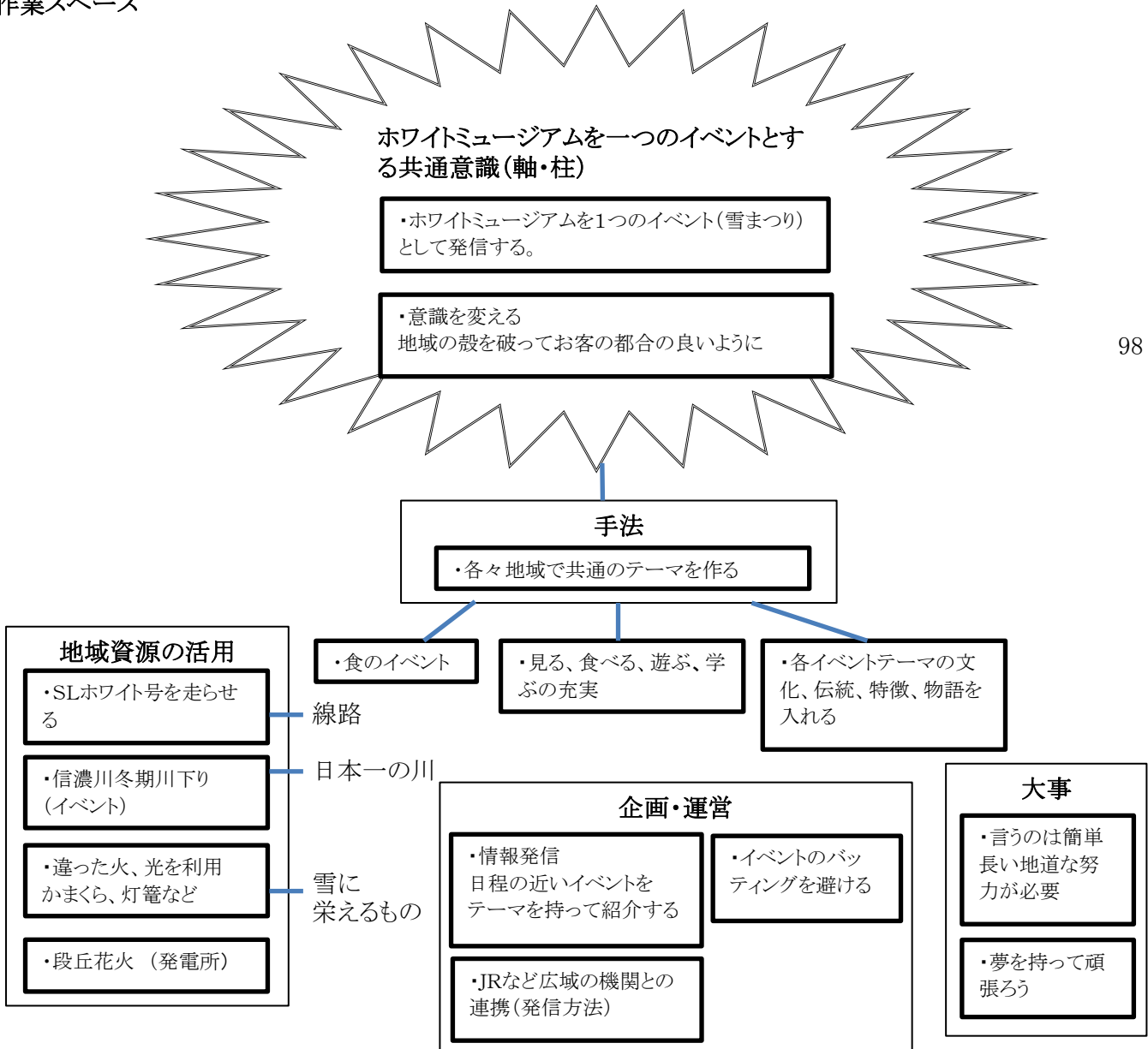
# 討議実施結果

グループ④ メンバー 水落 野上 相澤 星名

討議テーマ②

## 市内各地にある雪まつりを連携させるには？

作業スペース



98

まとめ  
(3つ以内)  
残したい意見

ホワイトミュージアムの軸・柱の形成

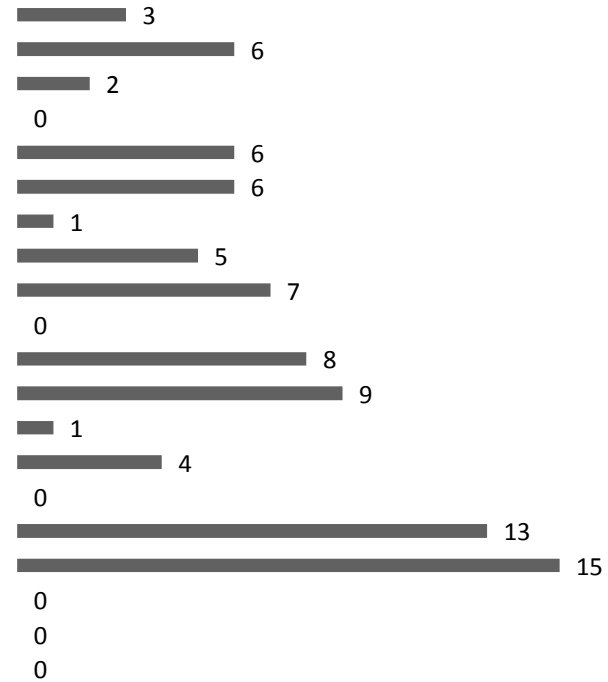
共通テーマと地域資源の活用

夢を持った地道な努力を！

# 投票結果

テーマ「市民が参加したいと思う雪まつりとは？」

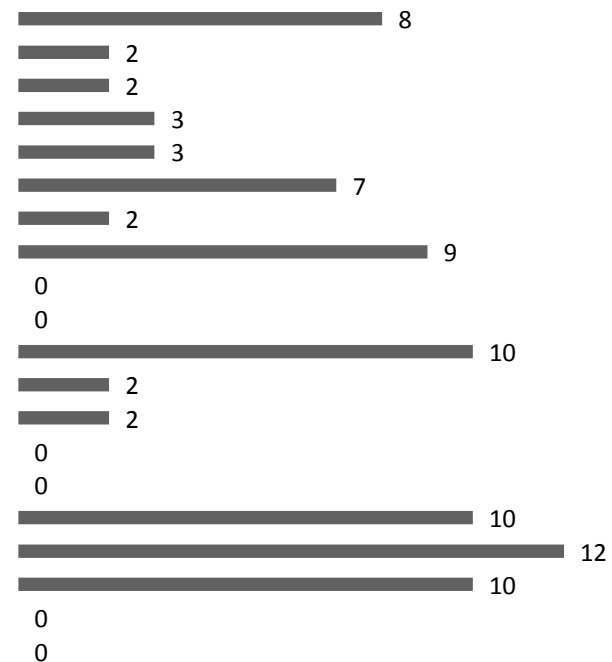
グループ ①	まとめ	世代を超えて気軽に参加できる
		細かい所まで回れる交通手段の充実
		若い人が参加できる環境作り
残したい意見	見	世代を超えた「ウルトラクイズ」
		「美」をテーマとした雪まつり
グループ ②	まとめ	交通体制の充実(地域の人たちの為にも必要)
		雪原カーニバルのような幻想的な風景を見たい
		食文化を大切にするイベント
残したい意見	見	意外と気がつかない雪の風景を観に行く雪まつりツアー
グループ ③	まとめ	交通機関整備
		学校へのお願い
		募集の方法
残したい意見	見	何の為にするのか
		賞・景品
グループ ④	まとめ	市民参加の為には”楽しさ”や”感動”が必要
		市民参加の為に、企画を改めて整理する
残したい意見	見	



# 投票結果

テーマ「市内各地にある雪まつりを連携させるには？」

グループ ①	まとめ	テーマ曲を作ってどの会場でも流す
		おたくを取り込む
		テーマを決めて統一した広報をする
残したい 意見	他の会場の宣伝をする	
	共通クーポンを作る	
グループ ②	まとめ	地域の特色を活かした食事を提供してもらい、食を中心に連携させる
		パスポートを作り地域の情報発信を行う
		雪像など一つのテーマを絞り、各会場で必ず作ってもらう
残したい 意見	市民の参加を呼び掛ける	
グループ ③	まとめ	情報発信(市外)
		情報発信(市内)
		行政
残したい 意見	おもてなし	
	イベント	
グループ ④	まとめ	ホワイトミュージアムの軸・柱の形成
		共通テーマと地域資源の活用
		夢を持った地道な努力を！
残したい 意見		



# とおかまち市民討議会2013 参加者アンケート

Voice to Voice ～響かせよう、あなたの声を～

## 当日参加者アンケート 集計結果

質問1 性別に○をつけてください。 (11) 男 ( 8) 女

質問2 年代に○をつけてください。

( ) 10歳代 ( 2) 20歳代 ( 1) 30歳代 ( 1) 40歳代  
( 4) 50歳代 ( 9) 60歳代 ( 2) 70歳代以上

質問3 お住まいの地域に○をつけてください。(中学校の校区単位でお答えください。)

( 4) 十日町中学校区 ( 1) 十日町南中学校区 ( 2) 中条中学校区  
( 1) 下条中学校区 ( 2) 吉田中学校区 ( 1) 水沢中学校区  
( 7) 川西中学校区 ( ) 中里中学校区 ( ) 松代中学校区  
( 1) 松之山中学校区

質問4 ご職業に○をつけてください。

( 5) 自営業 ( 3) 会社員 ( ) 公務員 ( 2) パート・アルバイト  
( 2) 家事専業 ( ) 学生 ( 6) 無職 ( 1) その他「 」

質問5 参加された感想をお聞かせください。

最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 無作為抽出により参加者を募りましたが、この方法についてどう思いますか。

① ( 15) よいと思う。

- ・もう少し若い世代の人が多くの方が参加する側からして次の世代につながると思う。
- ・年齢、性別など異なる方がいろいろな意見が出る。

② ( 0) よくないと思う。

③ ( 4) どちらでもない。

ばくぜんとしていて分からない事が多い。

(2) 討議テーマに「雪を楽しもう！とおかまちの雪まつり」を取りあげた事についてどう思いましたか。

① ( 15) よかった。

- ・雪まつりについて実行関係者の話、事情を知ることができた。
- ・市民参加と観光の両立を考えるきっかけになる。

② ( 0) 悪かった。

今回の謝礼金額は

- ① ( ) 高いと思う。 ② ( 2 ) 安いと思う。 ③ ( 1 1 ) ちょうどよい。  
④ ( 5 ) 未記入

(8) 「とおかまち市民討議会」を今後も開催したほうが良いと思いますか。

- ① ( 1 7 ) はい。 ② ( ) いいえ。 ③ ( 1 ) どちらでもよい。  
⑤ ( 1 ) 未記入

(9) もし、再度「市民討議会」の参加依頼が届いたら参加されますか。

- ① ( 1 4 ) 参加する。 ② ( ) 参加しない。 ③ ( 4 ) わからない。  
④ ( 1 ) 未記入

(10) 「とおかまち市民討議会」に参加して、自分たちのまちに対する思いに  
変化はありましたか。

意志はあるけど足並みがそろっていない感じがわかった。けっしてしらけている訳ではないという事がわかった。

(11) 今後、「とおかまち市民討議会」で取り上げて欲しいテーマがありましたら、  
ご記入ください。

魅力ある十日町とは

(12) 全体を(運営や対応などなんでも)通して、ご意見・ご感想・お気づきの点があり  
ましたら、ご記入ください。

- こういった会に出るのは初めてで緊張していたが、いろいろな話を聞いたり、他の人の意見を聞いたりして有意義な時間を過ごすことができたと思う。大変だと思いますが、このような場をもっとたくさんつくって下さい。ごくろうさまでした。
- 市民討議会のことを市民に知ってもらった方が良いと思う。

以上、ありがとうございました。

# 市内各雪まつりの連携等を検討

## 十日町JC主催の第5回市民討議会

十日町青年会議所主催、十日町市共催「とおかまち市民討議会2013」が「盛り上げようホワイトミュージアム」をテーマに先月20日、千手コミュニティセンターで開催された。市民の声なき声を集約し、市政に反映させる手



各班代表が最終まとめを発表

法として注目される同討議会。これまで「国宝火船型土器の活用」「信濃川の未来」「中心市街地の活性化」「自治基本条例」をテーマに毎年行い、今回は5回目となる。同討議会には、無作為に選んだ市民2千人の中から参加を申し出た23人の市民が参加。JCメンバーからもコーディネーターとして加わり、4班に分かれ討論を行った。情報提供は、長野県飯山市の「いいやま雪まつり」、市内ホワイトミュージアムの各イベントを担う「松之山温泉組合」「元気印頑張隊R」「下条田舎ひろば」「上野ほんや村実行委員会」の計5団体代表者が「市民が参加したいと思う雪まつりとは?」「市内各地にある雪まつりを連携させるには?」をテーマにパネルディスカッション形式で情報提供した。このうち「連携」について市内担当者からは、広報情報発信の連携に加え、「雪原キャンドル」に松代の作家の光の海との連携、バイトウの炎、十日町雪まつりの雪像も取入れられたら面白い「雪原カーニバルの真似をしたことがあり、やり方を教えて貰った。良い所は真似をするのも連携の一つになる。各イベント翌日に温泉巡りや棚田撮影とかを組み合わせるのも面白い」「共通テーマや共通食も面白い」「各広場に他地域のイベント案内があってもいい」などが

(十日町新聞 平成25年11月7日)

### 雪まつりをテーマに来月20日開催 — 第5回市民討議会 — 十日町JCが十日町市と調印式



協定書に調印し握手をかわす浦井理事長(右)と関口市長

「とおかまち市民討議会2013」の調印式が、十日町市の市長邸で行われた。十日町青年会議所では5回目となる市民討議会を10月20日に千手コミュニティセンターで開催する予定で、外に向けたPRと事業内容の案内を目的に調印式を行った。同青年会議所の浦井理事長は「第5回目の市民討議会を盛り上げようホワイトミュージアムをテーマとして開催する。これまで信濃川、中心市街地などをテーマとしてきたが、今回は雪まつりについて討議したい。市民の意見を聞ける良い機会だと感じている」と趣意を述べた。関口市長は「青年会議所の活動にお礼を申し上げます。過去の4回も大事なテーマについて声なき声を拾い上げるという手法は素晴らしい。今回の雪まつりのテーマも有り難い。過去に何回か協定書を頂いているが、さらなる連携が必要だ。他の地域の雪まつりとの連携も、合併後に進めているが、必要。企画を改め整理する」「ホワイトミュージアムを一つのイベントとする共通意識、見る、食べる、遊ぶ」「ホワイトミュージアムの軸柱の形成」「共通テーマと地域資源活用」などが示された。投票で高評価を得ていた。十日町JCでは、この日集約された意見を報告書にまとめ、市や関係団体に提出し、同JCのHPでも一般公開する。

(十日町新聞 平成25年9月5日)

示された。飯山市の坂東武文氏は「飯山雪まつりでは十日町雪まつりのアイデアを見習っています。十日町市にこれほど多くの冬イベントがあるとは知らなかった。もっとPRすべき。道路に今週はこのイベントなど看板を掲げPRすべき。ホワイトミュージアムフォトコンテストを行い、優秀作はパンフやパネルに。イヤシなくていいです。私達がりやります」と話し、笑いを誘い注目された。最終まとめ発表で各班からは、「美を共通テーマとした雪まつりを」「テーマ曲を作り、どの会場でも流す」「テーマを決め統一した広報」「雪の風景を眺めいく雪まつりツアー」「地域の特色を活かした食事を中心に連携」「雪像など二つのテーマを決め、各会場必ず作って貰う」「目的別の情報発信」「市民参加のために楽しさと感動が必要。企画を改め整理する」「ホワイトミュージアムを一つのイベントとする共通意識、見る、食べる、遊ぶ」「ホワイトミュージアムの軸柱の形成」「共通テーマと地域資源活用」などが示された。投票で高評価を得ていた。十日町JCでは、この日集約された意見を報告書にまとめ、市や関係団体に提出し、同JCのHPでも一般公開する。

さらに新しい要素も必要だ。今回は雪まつりに取り組む。雪の活用ではやはり雪室ではないかと期待を語った。



## ご挨拶

---

市民討議会とは、無作為抽出で選ばれた市民の皆さんにまちづくりの課題について話し合っただき、そこで出された意見や提言を報告書として市へ提出し、市民の皆様の様々な声を今後のまちづくりに活かしていこうというものです。それは特定の市民や専門的知識を持った方にその問題を任せるのではなく、幅広い層の市民の潜在的な声（サイレントマジョリティ）を市政に反映させていくための市民参加の手法として、また、市民の政治へ対しての関心を向けていただく事を目的としております。

今回で5回目を迎えた市民討議会ですが、テーマも冬の十日町市を代表する雪まつりをはじめとするこのまちに住む市民にとって馴染みのあるテーマを討議していただきました。歴史もあり、当たり前のように行われているからこそ、他人任せになっているところもあったのではないのでしょうか？この十日町市に住む我々にとってこのまちを代表する催事を後世にしっかり引き継ぐためにも、今回のテーマで改めて市民の意見を聞くこと、そして討議ができたことは非常に価値のあることだと感じております。アンケート結果からわかるように意見は様々ですが、その一つ一つを大切な市民の意見として報告させていただきます。

最後に、無作為に選ばれた市民の方に突然のご案内をさせていただきました。その趣旨にご理解いただき、長時間にわたり討議を行なっていただいた市民の方々と共に事前アンケートに協力していただいた市民の方々に心より御礼を申し上げます。

また、事業趣旨に賛同していただきました関口市長をはじめとする十日町市職員の皆様、そして記事掲載していただきました報道関係者の皆様に心より御礼申し上げます。今後も社団法人十日町青年会議所の活動についてご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

とおかまち市民討議会 2013  
実行委員会  
社団法人十日町青年会議所  
社会開発委員会  
委員長 俵山 忠之

# **とおかまち市民討議会2013実行委員会**

**主 催:社団法人十日町青年会議所**  
**共 催:十日町市**